

令和４年度 笠間市行政改革推進委員会 議事録

日 時：令和５年３月２４日（金）１０時００分～１１時３０分

会 場：笠間市役所本所２階２－６、２－７会議室

出席者：委員１０名

長谷川 愛子、栗田 則夫（副会長）、大塚 誠、数納 享、鈴木 友子、大友 光広、
南雲 京子、橋本 亮、石川 真澄、砂金 祐年（会長）

事務局５名

後藤総務部長、橋本総務課長、石川課長補佐、小西主査、小薬主幹

傍聴者：なし

１ 開 会

２ 会長挨拶

私は、当市以外でも行財政改革の会議を担当しているが、当市の会議は短い時間の中で、委員の
お一人お一人から建設的な御意見を出していただき、有意義なものであると感じている。

今回、新たに委員となった方もいらっしゃるので、昨年度と同様に、是非、忌憚のない御意見を
頂きたい。

３ 出席者紹介

４ 議 題

第３次笠間市行財政改革大綱実施計画の令和３年度実績及び最終評価について

事務局が資料１を基に説明。

【質疑応答】

○委員

３ページ「人事評価制度の充実」について、令和３年度の進捗状況を「ほぼ計画どおり（８
割以上）」としているが、１０割とならない理由は何か。評価対象としない職員がいるか。

○事務局

人事評価は、全職員を対象としているが、評価項目の見直しを行うとしており、達成されな
い部分が合ったため、この表記としている。

○委員

５ページ「ホームページ有料広告収入の確保」について、実績の金額は。

○事務局

確認の上、回答する。

○委員

８ページ「公共施設等の借地の解消」について、職員駐車場の利用料金は。

○事務局

1月600円である。

○委員

3ページ「支所業務の見直し」に関連して、私は職業上、官公庁を訪れることが多いが、国の対応が過去と比較して良くなったと感じる。

また、当市の窓口の対応は、スムーズで非常に素晴らしいと感じる。私達一般市民にとって、市の評価は、窓口の印象が主であるため、引き続き向上を図っていただきたい。

○事務局

先程の有料広告収入について、令和3年度の実績は、全体で225万5千670円、ホームページに関しては、月額2万950円としており、20件の掲載があった。

○委員

実績について、人員削減、自主財源の増加、無駄がどれだけ削減されたかといった、数値による分かりやすい項目を示してほしい。

○事務局

事業スクラップについて、令和3年度と4年度の予算額の差で約2億5千万円の効果額となる。毎年度、予算額での効果額を公表しているため、当大綱にも反映させていきたい。

○委員

次年度以降、資料にも示していただきたい。

○委員

4ページ「タブレット端末による効率的な会議の推進」について、本日のような会議にも導入を検討し、ペーパーレス化を推進していただきたい。

8ページ「審議会等における女性委員の登用推進」について、当市は未達成である。審議会の特性上、女性が入りにくいものもあると思うが、引き続き検討を進めていただきたい。

3ページ「働き方改革の推進」について、男性の育児休業の取得状況が向上したものの、未だに低い状況である。出生率の低下の対策となる働き方改革は、国が取り組むべきものではあるが、地域からの発信も重要である。私の勤務先では、「ファミリーサポート休暇」として、学校行事や就学後の子どもの看護による休暇を時間休で取れる制度を導入したが、非常に取得率が高い。病院の通院や不妊治療、子どもと親のダブルケア等にも対応している。このような独自のものを含めて、職員が休暇を取りやすい制度を検討していただきたい。

○事務局

会議用のタブレットについて、今回、予算編成の中で、外部委員に対するものを検討した。事前にメールで資料を送付し、当日は事務局が用意したタブレットで見ていただく内容を検討したが、予算化には至らなかった。今後、1番良い方法を検討していきたい。

女性委員の登用は、非常に苦慮しているところである。男女共同参画の担当部署で、委員を引き受けてくださる方の名簿を作成し、この中からお声がけさせていただいているが、未達成の状況である。情報の収集方法を含めて、引き続き対応を進めていきたい。

休暇制度について、地方公務員法を超えた制度は、様々な制限がある。この部分を含めて、

検討を更に進めていきたい。

○委員

ペーパーレス化に関して、今回、私は事前にメールでデータを送付いただいた。各委員にデータで良いか、紙が必要か確認の上、ペーパーレス化を推進していただきたい。

○委員

育児休業の取得率について、「金融業と保険業は高いが、実質は形だけである」という新聞の報道があった。パーセンテージの数値は設定次第であるため、基準に対して何日休暇を取得したといった、実数で表示していただきたい。

○委員

7ページ「公共下水道と農業集落排水」について、社会インフラは最大値で整備を計画するが、本当に必要であるかをきめ細かくチェックし、財政部局からコントロールしていただきたい。

○事務局

令和4年度、公共下水道と農業集落排水について、今後の整備区域の大幅な見直しを実施した。費用対効果を考慮して、公共下水道の区域は縮小し、農業集落排水の新規整備は廃止して浄化槽で対応することとした。これらについて、より積極的に広報し、対応を進めていきたい。

○委員

女性活躍について、モデル企業を選定の上、行政が支援しつつ、数年間かけてPDCAサイクルを回していく事例があり、企業から地域への波及効果が期待されている。当社にとっても課題となる分野であり、企業と行政が手を取り合いながら取り組みを進められればと考えている。

○事務局

女性の登用やワークライフバランスの推進について、「キラリかさま優良企業」の認定をさせていただいている。研修及び資格取得の支援や休暇取得の取り組みを基準として、現在5企業を認定している。担当部局で、取り組みを広げたいとの考えがあるため、今後も力を入れていきたい。

○委員

資料に取り組みの進捗状況を記載しているが、1枚程度にまとめて、内容を分かりやすくしていただきたい。

○事務局

今後、第4次大綱の実績をまとめていく中で、見やすさや分かりやすさを考えていきたい。

○委員

3ページ「職員研修の充実」について、本件は非常に重要であるとする。実情はあると思うが、余裕があるから研修を受講できるのではなくて、受講を不可欠とするような制度を検討していただきたい。内容については、近年、ハラスメント関係が話題に上がることが多いため、対内と対外の双方とも検討をしていただきたい。

○事務局

職員研修については、役職に応じたものと特別なものを実施している。第4次大綱では、ハラスメント防止研修の受講に関する数値目標を設定している。昇級に関する要件とまではしていないものの、コロナ禍の影響によりeラーニングが職員に浸透してきているため、取り組みを進めていきたい。

○委員

実施項目について、全ては難しいと思うが、数値による実績を示していただきたい。

9ページ「市民記者制度の導入及び実施」等のように未達成だった取り組みについて、内容を変えざるを得なかった項目もあると思うので、その理由を示せるようにしておいていただきたい。

○事務局

実施項目の内容によって数値化が困難なものもあるが、可能な限り見える化を図りたい。

未達成だった取り組みは、経緯を整理した上で、引き続き取り組むべきものは、第4次大綱でも進めていきたい。

○委員

3ページ「消防団統合再編（消防団詰所、消防自動車の整備計画）の推進」に関連して、消防団の会費が頻繁に話題に上がる。消防団の会費は、議会で一律にした上で、市が会費を徴収して、各分団に配付すれば良いのではといった話を聞いたが、このようなことはあるのか。

○事務局

議会で条例化して、制度を作ればということと思われる。消防団のあり方は、これまでも議論しているが、自治消防が生まれて各地区に消防団があり、その運営は地域で行っているといった根底がある。そこに常設消防が設置されて、両者が並列している中で、地区の消防団については、地区で会費を徴収し後援会費の一部を負担している。そこに自治体関わっていないため、議会で条例化して、市が会費を徴収し、分配したらどうかという話であると思われる。現在、行政区のあり方検討委員会や自治会が行うべき業務の整理の中で、消防団の会費についても議論しているため、今後も検討を進めていきたい。

○委員

7ページ「国民健康保険特別会計の経営健全化」について、資料2の個票で工程表に「特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上」を記載しているが、実施に対する実績が記載されていない。目標に対して、何パーセントの実績だったのか、目標を達成できたのか、これらを含めて検証することが健全化だと考えるため、繰入率や収納率だけでなく、こちらも検討していただきたい。

○事務局

担当課と協議の上、実績の示し方を検討していきたい。

○委員

第4次大綱では、本件を反映させていただきたい。

○委員

マイナンバーカードの普及や行政手続のオンライン化により、証明書の発行といった従来業務を目的とした来庁者は、どの程度減少したか。私の職場でもインターネットやアプリの導入により、来訪することなく手続きができるようになっている。これまで従来業務に向けていた人材を相談業務に向けていくことになると思われる。

○事務局

第2の市役所としてホームページを作成し、来庁せずとも行政サービスを受けられる体制の構築を進めている。併せて、マイナンバーカードを利用して、コンビニ等で住民票を発行できるようになっている。コンビニに支払う手数料は、当初予算では足りなくなり、3月に再度、予算の補正を行った。当初の見込みよりも、かなり多くの利用を頂いている。今後、どれだけサービスを広げられるか検討しているところである。

○委員

脱炭素の対策について、市では電気自動車の導入や照明のLED化を実施していると思うが、学校や周辺施設も含めてLED化は完了しているか。

○事務局

照明のLED化や太陽光施設の導入を進めており、引き続き推進を図りたい。学校は、教室の換気をしたまま冷房をかけているため、電気料の削減は非常に困難である。今年度、1校で、最新の遮光断熱シートを導入した。来年度、どの程度の影響が出るか導入実験を行っており、こういった分野の検討も進めていきたい。

○委員

8ページ「審議会等における女性委員の登用推進」及び9ページ「市民記者制度の導入及び実施」について、大学生の起用を積極的に検討していただきたい。在学中に男女共同参画の委員やSNSでの市の魅力を発信を行って、採用試験の結果、当市に採用となった学生がいる。地域づくりや行政に関心のある学生、熱意のある学生がおり、大学の窓口を通じて、そういった学生を紹介することは可能だと思われるため、是非検討をお願いしたい。

○事務局

担当課に情報をお伝えして、可能であれば取り組みを進めていきたい。

○委員

農業集落排水と公共下水道は、料金体系が異なるか。

○事務局

同一である。

○委員

以前、別の市において、両者は所管が異なるため料金体系が異なっていたが、市長が「同じ市民であるのだから、同一であるべき」と改定したことがあった。少子高齢化を迎えている中で、農村部の人がいなくなるため、農業集落排水の整備が難しくなっていた。先程、消防団の話があったが、本計画の中で、こういったものが本当に必要であるかを考える時期が来ていると思われる。私の居住地（市外）では、消防団はなく、現実的に困ることもない。第4次大

綱において、地域の過疎化が進む中で、これまで取り組んできた内容が本当にやっていけるのかを検討していただきたい。

○事務局

地域の生活を守っていくことは、常に議論させていただいている。消防団のあり方として、日常的には必要ないかもしれないが、災害が発生した際に、地域で動いてもらえる組織として消防団の意義は大きいと考えている。廃止についての議論はあまりされていないのが正直なところであるが、活動の内容やなり手不足の件も含めて検討を行っていききたい。

○委員

町内の総会で消防団の必要性を話したことがあるが、反発が大きかった。厳格に言えば、会費や区費の強制的徴収は違法で、任意のものだと考える。地区によって会費も異なり一本化されてきているが、経費の配分や会費の明瞭性を明らかにしてほしい。

○事務局

消防団や行政区のあり方は、現在検討を行っており、御意見を参考に対応していきたい。

○委員

子どもの住みやすい環境整備として、家賃の補助等を行っている自治体があると聞いた。当市は、こういった取り組みを行っているか。

○事務局

来年度予算の重要事務事業として、「笠間まると子育て都市宣言プロジェクト」を打ち出した。生活応援、安心、住環境の向上の3部門に分けて、様々な事業を拡充して取り組んでいく。移住者に対しては、国や県と合同で補助金の交付を実施している。また、小中高の入学時にお祝い金の交付やランドセルの配付する事業を開始する予定である。他には、出産子育て時の交付金や保育園に入れない方でも一時預かりを可能とする制度といった事業に取り組んでいく予定である。

○委員

他の自治体では、補助金の交付期間後に転出してしまう事例があると聞く。一時的でなく、引き続き定住してもらえるような制度設計を検討していただきたい。

○委員

小中学校で1クラスに教員2名を配置することがあると聞いたが、こういった理由か。

○事務局

クラスの人数や支援が必要な児童生徒がいるといった要因で、補助の教員を配置すると聞いている。

○委員

クラスが荒れているため、そういった配置をしていると聞いた。教育委員会で校長と協議いただき、体制を整えていただきたい。

○委員

今年度、子どもが小学校に入学したが、ランドセルが重いと話をしている。教科書の電子化等、対応の検討をお願いしたい。

○事務局

市のみでは対応できない部分もあるが、電子教科書を推進していくと聞いている。来年度から、再生ペットボトルを原料とした軽いランドセルを小学１年生に配付する予定である。

○委員

友部駅周辺でウォーキングをする際に、外灯が少なく暗いと感じる。市の外灯設置の方針はあるか。

○事務局

防犯灯について、幹線道路には市が必要な場所に設置しており、地域のものは行政区が設置して市が補助金を交付している。

○委員

今後、設置を増やす予定はあるか。

○事務局

防犯上の安全性等から検討することになるが、現時点では、具体的に整備する区間はない。

○委員

職員駐車場の利用料金が６００円と話があったが、一般の駐車場とバランスが取れているか疑問である。借地料の全てをまかなえていれば良いが、そうでないならば、市が物価の高騰等により使用料や手数料の見直しを行うことの理解を得られないだろう。通勤手当の制度もあるので、職員にも負担になりすぎない妥当な金額を検討していただきたい。

○事務局

担当課に確認の上、対応を検討したい。

○会長

以上で、本日の議題を終了とさせていただく。進行を事務局にお返しする。

○事務局

本日の御意見は、議事録にまとめて、資料と共にホームページに掲載し、市民に公表させていただきます。

５ 閉 会